



- 意見 5 : 作品展や写真展の宣伝に、ホームページのトップページに表示する等、わかりやすい活用をするとよい。読むよりも見る方が意識できる。児童生徒や保護者の生の声を聴くことや、ホームページで発信することを大切にしてほしい。
- 意見 6 : アンケートで「わからない」や「ややあてはまらない」と回答されている取組も、どうしていくかが分析に書いてあるとよい。
- 意見 7 : 地域に学校のことを知ってもらうことは、将来を見据えたとき保護者の安心感となる。校外学習では、先生の努力やつながりを大切にしていることがよくわかる。
- 意見 8 : 全校のつながりの活動がととてもよい。地域での交流も昨年より増えて積極的に感じている。
- 意見 9 : アンケートでは、概ね肯定的な回答でよい方向に向かっている。県内の他の学校のアンケートとの比較があると違う見方ができる。  
⇒重点項目は学校独自のものとなっているが、他校との比較や項目の内容は今後検討する。
- 意見 10 : 今年度、学校からの勧めで、中学部の生徒 2 組が福祉就労事業所に見学相談に来られた。良いことだと思う。
- 意見 11 : 卒業後のことを考えると、やりたいことをやりたいようにするというところは困るところでもある。学校では、どのように考えているのか。  
⇒好きなことを好きなようにしてよいとは考えていない。何に興味があるのかを探り、それを入り口にして集団や学習に向かうための支援を考えている。
- 意見 12 : 学校では、あいさつなどについて一律に指導している場面があったが、生徒は一人一人受け取り方が違うし、就労先によっても必要なことが違うので、どうなのか。  
⇒学校では、基本の姿勢が身に付くように指導している。その上で、実習の現場に応じたやり方が身に着くよう取り組んでいる。
- 意見 13 : 委託作業の割りばしや景品等の裏に、教育活動の周知になるようなシールを貼る方法がある。
- 意見 14 : 3つの重点項目に感動している。地域連携、ボランティア、まち協との協力が素晴らしい。一人一人が輝いて尊重される存在であることを伝えるためにも活動する場を広げる工夫をしてほしい。
- 意見 15 : 児童生徒が主体となった進路選択のためにも、福祉事業所の特色や理念を理解するための場を作ってほしい。特に就労継続支援の B 型は事業所によって特色が違う。理解なく進路選択すると、ストレスの原因になる。

### (3) 本校高等部作業製品の価格審査会

- ・新製品の価格について、適正な価格であると承認が得られた。
- ・使用用途に沿った製品の名称変更について、承認が得られた。

## 6 会議のまとめ

- ・会議では、教育活動の周知についての賛同や、新たな取組について、様々な意見が得られた。
- ・学校評価アンケートの結果から得られた成果や課題と、学校運営協議会委員から得られた意見を学校内で共有し、今後の実践につなげていく。
- ・アンケート項目については、いただいた意見を踏まえ、来年度のアンケート実施に向けて検討する。
- ・本校高等部作業製品の新規登録について、承認が得られた。
- ・第 3 回の学校運営協議会では、今年度の実践のまとめを報告し、来年度の取組について検討する。